



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
 コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
 理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 26,655 | 4.8 | 2,212 | △10.8 | 2,363 | △10.5 | 1,590 | △10.4 |
| 2022年3月期第1四半期 | 25,427 | △2.8 | 2,480 | △24.6 | 2,640 | △20.5 | 1,775 | △21.4 |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,117百万円 (31.9%) 2022年3月期第1四半期 1,605百万円 (△30.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 46.30 | — |
| 2022年3月期第1四半期 | 50.52 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 95,481 | 77,147 | 79.1 | 2,212.97 |
| 2022年3月期 | 94,371 | 76,712 | 79.8 | 2,177.99 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 75,553百万円 2022年3月期 75,285百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 30.00 | — | 30.00 | 60.00 |
| 2023年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年3月期 (予想) | — | 30.00 | — | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 51,600 | 5.2 | 3,950 | △0.1 | 4,000 | △3.7 | 2,700 | △3.3 | 78.76 |
| 通期 | 108,000 | 6.9 | 8,300 | 16.7 | 8,400 | 10.6 | 5,600 | 9.1 | 163.67 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期1Q | 37,375,636株 | 2022年3月期 | 37,375,636株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期1Q | 3,234,624株 | 2022年3月期 | 2,809,024株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期1Q | 34,348,112株 | 2022年3月期1Q | 35,141,012株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が全面的に解除され、消費回復の動きが見られるものの、不安定な国際情勢の長期化や原材料等の物価上昇・円安の影響により、国内消費市場は厳しい状況が続いております。

そのような状況の下、当社グループとしましては、2022年5月20日に公表いたしました「ドウシシャグループ中期経営計画」の達成に向けて、取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高26,655百万円(前年同期比104.8%)、売上総利益7,456百万円(前年同期比92.9%)、販売費及び一般管理費5,244百万円(前年同期比94.5%)、営業利益2,212百万円(前年同期比89.2%)、経常利益2,363百万円(前年同期比89.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,590百万円(前年同期比89.6%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

ハウスウェア関連については、収納いらずの四角い「スマートフライパン *s u t t o* (スット)」の販売が引き続き好調に推移したほか、気温上昇を背景として氷かき器についても前年同水準の好調な売れ行きとなりました。

食品関連については、得意先の企画に連携したOEM商品が好調で、半生ドライフルーツや焼き干し芋、きんぴらごぼうの-snack菓子など、フルーツや野菜の素材を活かした菓子類の販売が好調だったほか、するめなど珍味やナッツ類も好調な販売となりました。また、製菓材料についても、販路拡大で伸長いたしました。

その一方、均一ショップ向けの雑貨関連などを中心に原材料等の原価上昇により、特に利益面で大きな影響となりました。

また、家電関連については、中国での感染再拡大による入荷への物流の影響などもあり、販売は前年を下回る結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は13,512百万円(前年同期比97.5%)、セグメント利益947百万円(前年同期比64.9%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

ブランドバッグや時計など有名ブランド関連は、ビジネス・ユースについて、男性向け・女性向けブランドともに好調な販売となったほか、旅行用バッグなども、都道府県が行う旅行割引「県民割」による国内トラベル需要の急速な伸びを背景に、若年層やファミリー層までのターゲットを中心に好調な販売となりました。

また、ビューティ関連では、UVスプレーや化粧水などの販売が伸長しており、国内向け販売とともに、世界的にも感染対策が緩和傾向にあることから、海外販売についても伸長いたしました。

その他、当社が販売代理店として展開している「STANLEY (スタンレー) オフィシャルオンラインストア」が2022年3月9日からオープンし、販売も好調に推移しております。スタンレーは、1913年にアメリカで誕生してから創業100年以上のサーマルウェアブランドで、保温効果が高く、とても丈夫で耐久性が高いステンレスボトルやフードジャーなど様々な商品を展開しております。

ギフト関連については、母の日ギフトが販路拡大やSNSによるソーシャルギフトの活用などにより伸長したほか、中元ギフトの導入も好調に推移しました。

また、人々の賑わいの戻りとともに、アミューズメント施設やゲームセンター向けの景品玩具などが伸長したほか、浮き輪などマリングッズについても、昨年より好調な販売となりました。

その結果、当セグメントの売上高は11,796百万円(前年同期比110.9%)、セグメント利益1,312百万円(前年同期比105.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は73,221百万円となり、前連結会計年度末(72,003百万円)に比べ1,217百万円増加いたしました。これは主に、受取手形170百万円、売掛金3,598百万円、電子記録債権142百万円、商品及び製品1,274百万円、その他427百万円の増加及び、現金及び預金4,398百万円の減少によるものであります。固定資産は22,260百万円となり、前連結会計年度末(22,367百万円)に比べ107百万円減少いたしました。

これは主に、投資有価証券89百万円の増加及び、建物及び構築物(純額)75百万円、繰延税金資産129百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、95,481百万円となり、前連結会計年度末(94,371百万円)に比べ1,110百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,583百万円となり、前連結会計年度末(9,899百万円)に比べ684百万円増加いたしました。これは主に、買掛金823百万円、その他370百万円の増加及び、未払法人税等466百万円、役員賞与引当金41百万円の減少によるものであります。固定負債は7,750百万円となり、前連結会計年度末(7,759百万円)に比べ8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は77,147百万円となり、前連結会計年度末(76,712百万円)に比べ434百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による1,590百万円、繰延ヘッジ損益228百万円、非支配株主持分166百万円の増加及び剰余金の配当1,036百万円、自己株式の取得646百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、79.1%(前連結会計年度は79.8%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は44,183百万円となり、前連結会計年度末より4,398百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は2,744百万円(前年同期は3,713百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,363百万円、減価償却費182百万円、仕入債務の増加額797百万円、未払消費税等の増加額173百万円、その他の流動負債の増加額109百万円による増加及び売上債権の増加額3,880百万円、棚卸資産の増加額1,252百万円、法人税等の支払額1,116百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は60百万円(前年同期は111百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出50百万円、投資有価証券の取得による支出7百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,696百万円(前年同期は1,345百万円の減少)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出646百万円、配当金の支払額1,011百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 48,581 | 44,183 |
| 受取手形 | 330 | 501 |
| 売掛金 | 12,638 | 16,237 |
| 電子記録債権 | 1,471 | 1,613 |
| 商品及び製品 | 8,036 | 9,311 |
| 短期貸付金 | 13 | 13 |
| その他 | 933 | 1,361 |
| 貸倒引当金 | △2 | △0 |
| 流動資産合計 | 72,003 | 73,221 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 13,073 | 13,089 |
| 減価償却累計額 | △5,442 | △5,534 |
| 建物及び構築物(純額) | 7,630 | 7,554 |
| 土地 | 9,385 | 9,385 |
| 建設仮勘定 | 784 | 831 |
| その他 | 3,022 | 3,073 |
| 減価償却累計額 | △2,191 | △2,251 |
| その他(純額) | 830 | 822 |
| 有形固定資産合計 | 18,631 | 18,594 |
| 無形固定資産 | 416 | 390 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,910 | 2,000 |
| 長期貸付金 | 20 | 17 |
| 繰延税金資産 | 280 | 151 |
| その他 | 1,119 | 1,119 |
| 貸倒引当金 | △11 | △11 |
| 投資その他の資産合計 | 3,319 | 3,276 |
| 固定資産合計 | 22,367 | 22,260 |
| 資産合計 | 94,371 | 95,481 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,916 | 6,740 |
| 未払法人税等 | 1,192 | 725 |
| 役員賞与引当金 | 57 | 15 |
| 賞与引当金 | 5 | 4 |
| その他 | 2,727 | 3,097 |
| 流動負債合計 | 9,899 | 10,583 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,600 | 6,600 |
| 退職給付に係る負債 | 650 | 655 |
| 資産除去債務 | 10 | 10 |
| その他 | 498 | 485 |
| 固定負債合計 | 7,759 | 7,750 |
| 負債合計 | 17,658 | 18,334 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,993 | 4,993 |
| 資本剰余金 | 6,273 | 6,273 |
| 利益剰余金 | 68,054 | 68,607 |
| 自己株式 | △4,459 | △5,105 |
| 株主資本合計 | 74,861 | 74,768 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 56 | 100 |
| 繰延ヘッジ損益 | 207 | 435 |
| 為替換算調整勘定 | 180 | 265 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △21 | △18 |
| その他の包括利益累計額合計 | 423 | 784 |
| 非支配株主持分 | 1,427 | 1,593 |
| 純資産合計 | 76,712 | 77,147 |
| 負債純資産合計 | 94,371 | 95,481 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 25,427 | 26,655 |
| 売上原価 | 17,399 | 19,199 |
| 売上総利益 | 8,028 | 7,456 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,548 | 5,244 |
| 営業利益 | 2,480 | 2,212 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 69 | 25 |
| 為替差益 | 11 | 105 |
| 助成金収入 | 35 | 3 |
| 受取和解金 | 19 | — |
| その他 | 31 | 21 |
| 営業外収益合計 | 167 | 157 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 1 |
| 支払手数料 | 1 | 1 |
| その他 | 3 | 3 |
| 営業外費用合計 | 6 | 6 |
| 経常利益 | 2,640 | 2,363 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,640 | 2,363 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 708 | 690 |
| 法人税等調整額 | 110 | 28 |
| 法人税等合計 | 818 | 719 |
| 四半期純利益 | 1,822 | 1,643 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 47 | 52 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,775 | 1,590 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,822 | 1,643 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △43 | 44 |
| 繰延ヘッジ損益 | △210 | 228 |
| 為替換算調整勘定 | 34 | 199 |
| 退職給付に係る調整額 | 2 | 2 |
| その他の包括利益合計 | △216 | 474 |
| 四半期包括利益 | 1,605 | 2,117 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,547 | 1,950 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 58 | 166 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,640 | 2,363 |
| 減価償却費 | 178 | 182 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △53 | △41 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1 | △1 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △0 | △2 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 8 | 8 |
| 助成金収入 | △35 | △3 |
| 受取和解金 | △19 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △69 | △26 |
| 支払利息 | 1 | 1 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △3,550 | △3,880 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △720 | △1,252 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △293 | 797 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △164 | 173 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 214 | △88 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 206 | 109 |
| その他 | 6 | 4 |
| 小計 | △1,652 | △1,656 |
| 利息及び配当金の受取額 | 69 | 26 |
| 利息の支払額 | △2 | △2 |
| 法人税等の支払額 | △2,182 | △1,116 |
| 助成金の受取額 | 35 | 3 |
| 和解金の受取額 | 19 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △3,713 | △2,744 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △98 | △50 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △5 | △4 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6 | △7 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 3 |
| その他の支出 | △4 | △3 |
| その他の収入 | 3 | 2 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △111 | △60 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | — | △646 |
| リース債務の返済による支出 | △39 | △39 |
| 配当金の支払額 | △1,030 | △1,011 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △275 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,345 | △1,696 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 17 | 103 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △5,152 | △4,398 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 47,870 | 48,581 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 42,718 | 44,183 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月19日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式425,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が646百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が5,105百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-------------------|----------------|----------------|--------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | 開発型 ビジネスモデル | 卸売型 ビジネスモデル | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 13,863 | 10,641 | 24,504 | 886 | 25,390 | — | 25,390 |
| その他の収益 | — | — | — | 36 | 36 | — | 36 |
| 外部顧客への売上高 | 13,863 | 10,641 | 24,504 | 923 | 25,427 | — | 25,427 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | 2,411 | 2,411 | △2,411 | — |
| 計 | 13,863 | 10,641 | 24,504 | 3,334 | 27,838 | △2,411 | 25,427 |
| セグメント利益 | 1,461 | 1,239 | 2,700 | 143 | 2,844 | △364 | 2,480 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△364百万円は、セグメント間取引の消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94百万円及びその他調整額△287百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-------------------|----------------|----------------|--------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | 開発型 ビジネスモデル | 卸売型 ビジネスモデル | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 13,512 | 11,796 | 25,309 | 1,308 | 26,617 | — | 26,617 |
| その他の収益 | — | — | — | 37 | 37 | — | 37 |
| 外部顧客への売上高 | 13,512 | 11,796 | 25,309 | 1,346 | 26,655 | — | 26,655 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | 2,364 | 2,364 | △2,364 | — |
| 計 | 13,512 | 11,796 | 25,309 | 3,710 | 29,020 | △2,364 | 26,655 |
| セグメント利益 | 947 | 1,312 | 2,260 | 242 | 2,502 | △290 | 2,212 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△290百万円は、セグメント間取引の消去△78百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△95百万円及びその他調整額△116百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。